

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
エプソン販売株式会社	代表取締役社長	鈴木 文徳	東京都	情報関連機器販売	https://www.epson.jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新: 2019年9月24日

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号		取組項目	取組内容
1	A	④	発荷主からの入出荷情報等の事前提供	発荷主として貨物を発送する場合に、物流事業者の作業準備時間を確保するため、入出荷情報等を早めに提供します。
2	A	⑦	運転以外の作業の分離	物流業務を委託する際は、運転業務と運転以外の付帯作業を分離し、委託内容を明確にします。
3	A	⑩	リードタイムの延長	リードタイムの見直しを行うことで、計画的なトラック手配やモーダルシフトを可能とし、積載率の向上、運べないリスクの軽減を図ります。
4	A	⑮	納品日の集約	小口配送のまとめ出荷や、納品日を定めた他社との共同配送等、配送頻度を低減することで、効率的に運用できる物流体制を構築します。
5	B	②	運賃と料金の別建て契約	物流業務を委託する際は、運転業務と運転以外の付帯作業を分離し、委託内容を明確にして契約します。
6	F	①	出荷の平準化	月波動平準化、時間指定平準化等の取組により、トラックの有効活用を図ります。
7	F	②	共同配送の推進	共同配送の枠組み拡大(荷主間の横連携拡大)に積極的に取り組めます。

PR欄